

会 報 <<第473号>>

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



令和7年7月1日

目 次

I 月例会

「阪神・淡路 1995×能登 2024×南海トラフ 2030？」

神戸大学都市安全研究センター 教授 近藤 民代 氏 . . . 2 頁

II 特別寄稿

「神戸空港国際線就航」～新ターミナルの整備～

神戸市港湾局空港整備課 . . . 3 頁～4 頁

III 会員からの情報提供

「NSスーパーフレーム工法のご提案」

阿比野建設（株） 取締役社長 信國 貴之 氏 . . . 5 頁～6 頁

IV 研修交流会の開催 . . . 7 頁

V お知らせ 行事予定 . . . 7 頁

VI 広報コーナー 兵庫県住宅再建共済制度 . . . 8 頁

I 第530回月例会

「阪神・淡路 1995×能登 2024×南海トラフ 2030？」

神戸大学都市安全研究センター 教授 近藤 民代 氏



【会長挨拶】



先ほど阿比野建設様のほうから情報ということで、我々が詳しく知らなかったスチールハウスのな工法について解説していただきましてありがとうございます。また、このような時間を設けていきたいと思っておりますので、会員の皆様におかれましては、自社の何かPRということ最近こういう設計をしましたというようなご紹介でももちろん構いませんし、何かトピックス的なニュースをご提供していただけたらというふうに思います。

もう沖縄では梅雨入りということで、近畿もそのタイミングかなというふうに思います。これから1か月半ほどジメジメしたうっとうしい時期となりますが、皆様におかれましては、健康に留意していただきましてお過ごしされることを願っております。

去る5月8日に開催いたしました令和7年度の定時総会では、上程された議案全てが承認をされました。そして、引き続き開催いたしました会員交流会は皆様のご協力のおかげをもちまして、多くの来賓の皆様と会員との交流が図られ、有意義な時間を過ごせたのかなというふうに思っております。心から感謝申し上げますとともに今後引続いてご指導、ご支援をお願い申し上げたいというふうに思います。

さて本日の講師は神戸大学都市安全研究センター教授としてご活躍されておられます近藤民代先

生をお招きしております。総会の際の挨拶でもお話しましたが、本年は阪神・淡路大震災から30年の節目の年であります。この1年間、多くのシンポジウムやセミナーが開催され災害への対策、予防はもちろんのこと、震災の経験や教訓を継承することが大きなテーマとなっております。当会の月例会でも、昨年度、神戸市における津波対策や南海トラフ地震について学ぶ機会を設けました。また、視察研修会では三木の総合防災公園に建設されました免震試験施設E-アイソレーションに行き、技術者向けに公開された免震ゴムの立証試験を見学しました。

本日の近藤先生による「阪神・淡路 1995×能登 2024×南海トラフ 2030？」の講演が当会としてのまとめと考えております。避けては通れない巨大災害に対し、復興への備えについて学びたいと思います。

最後になりますが、兵庫県建築会は太平洋戦争の終戦から2年足らずの昭和22年3月に兵庫県並びに先人たちの戦災復興への情熱と知恵で、建築に関わる行政、建築士事務所、施工関係者などが集まる組織をつくっていただきました。78年を経て、全国でただ一つ残る特徴ある団体であります。阪神・淡路大震災のときも、当会会員の職種が横につながるネットワークが大いに貢献をしました。今後も会員間のヒューマンネットワークを大切に、兵庫になくはならない唯一無二の組織として活動してまいりたいと思います。

***近藤先生の講演録につきましては、次号以後に掲載予定です。**

II 特別寄稿

「神戸空港国際線就航」 ～新ターミナルの整備～

神戸市港湾局空港整備課

1.国際チャーター便の就航

2025年4月18日より神戸空港では、国際チャーター便の受入れを開始しました。2025年6月現在、韓国・中国・台湾の3か国・地域と5都市（ソウル(仁川)・上海(浦東)・南京・台北(桃園)・台中)との間で、週40便の国際チャーター便が就航しており、多くの方々にご利用いただいています。



神戸空港就航路線ネットワーク（国際線）

2.国際化までの流れ

2006年2月16日の開港以来、神戸空港は国内線専用の空港として運用されてきました。開港当初は発着回数や運用時間の制約もありましたが、2019年からは発着回数80回、運用時間は午前7時～午後11時と発着枠・運用時間が拡大されました。2020・2021年度のコロナ禍には、旅客数が大幅に減少しましたが、都心（三宮・新神戸）からのアクセスの良さや、国内各都市との充実した就航ネットワークなどを活かしながら、2024年度には過去最高となる361万人の旅客数を記録しました。

2022年9月、関西空港、伊丹空港、神戸空港の3空港のあり方を議論するための「関西3空港懇談会」において、神戸空港は、2025年大阪・関西万博への対応を視野に、国際チャーター便の運用開始、国内線発着枠の拡大（1日最大80回から120回へ）、さらに、関西空港の混雑が予想される2030年前後に国際定期便の運用開始（1日最大40回）が合意されました。



神戸空港鳥瞰パース

3.新ターミナル（第2ターミナル）の整備

この関西3空港懇談会の合意を受けて、これまで国内線専用として運用してきた神戸空港は、国際チャーター便の受入れ体制を整えることとなりますが、既存の第1ターミナルは、開港当初の1日の最大発着回数60回の国内線を受け入れるために整備した施設であり、改修・増築などを行いながら、国内線の拡大された発着回数約80回をこの時点で受け入れていました。



第2ターミナル外観

国際チャーター便の受け入れのためには、出入国手続きのためのCIQ（税関・出入国管理・検疫）施設や、国内線と国際線旅客が混在しないような施設構成とする必要があったため、新しいターミナルの整備が必要となりました。2022年9月の関西3空港懇談会の合意から、2025年から国際チャーター便を受け入れるためには、限られた時間の中でスピード感を持って新しいターミナルの

整備を進める必要があったため、神戸市が主体的に事業を進めることとなりました。

4.新しいターミナル（第2ターミナル）の特徴

第2ターミナルは「海に浮かび、森を感じる」をコンセプトとし、快適で質の高い旅の始まりを提供する施設となるよう整備されました。

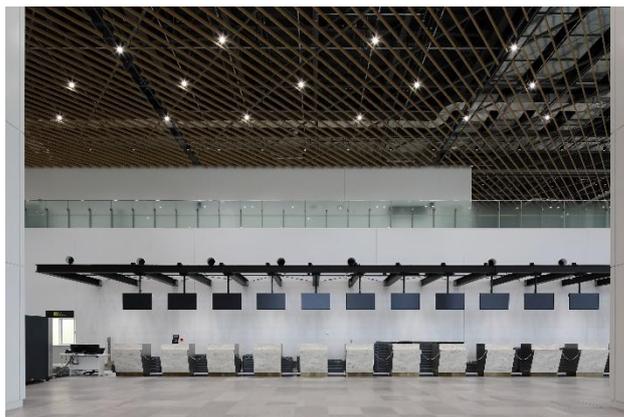
出発・到着ロビーからは六甲山、展望デッキからは明石海峡大橋が望める、神戸らしい景観に囲まれた立地を活かし、神戸の玄関口にふさわしい施設として、自然を感じながらも誰もが安心安全に過ごすことができる施設となっています。

第2ターミナルの最大の特徴は、航空会社のチェックインカウンター、保安検査場、搭乗待合室、CIQ など、搭乗にかかる機能をすべて1階に配置した構成です。通常、空港の旅客動線は航空機の高さに合わせた施設計画となるため、上下移動が多くなりがちですが、旅客動線がすべて1階で完結することで、車いすやベビーカー、大きな荷物を持った方々の移動をスムーズになることを実現しました。また、出発・到着ロビーはチェックインカウンターや保安検査場といった搭乗にかかる機能をわかりやすい配置とすることで、初めて利用する旅客も迷わず安心して利用できるようになっています。

さらに、館内は吹き抜けに沿って広くガラス張りとなっており、自然光を多く取り入れるとともに、遠景の六甲山から外部の樹木、屋内緑化まで緑の連続性を感じられる空間とし、内装や家具類は優しい印象となるアースカラーや木目調を取り入れています。旅客が利用する家具は、ベンチの他にもイスとテーブル、ソファ、ハイチェアなど様々なタイプを配置し、利用者のニーズに応じてくつろげるようにしています。

5.おわりに

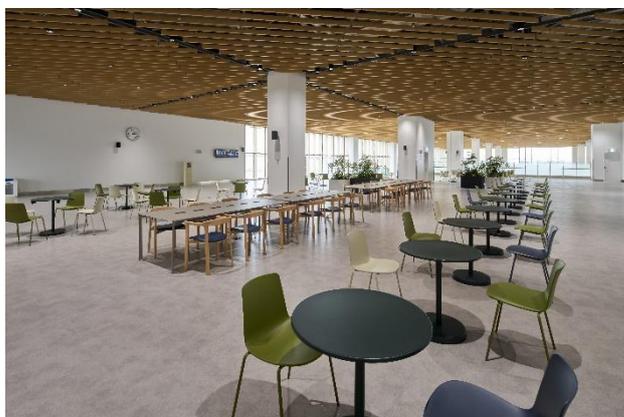
神戸空港の第2ターミナルが、多くの皆様の快適な空の旅の出発点・到着点としてご利用いただけることを期待しております。



チェックインカウンター



搭乗待合室



にぎわい空間



外観（夜景）

Ⅲ 会員からの情報提供

「NSスーパーフレーム工法のご提案」

阿比野建設株式会社 取締役社長 信國 貴之 氏

当社は1955年（昭和30年）に、当時の富士製鐵株式会社広畑製鐵所（現在の日本製鐵株式会社瀬戸内製鐵所広畑地区）の協力会社として土木工事請負業で創業し、1958年（昭和33年）、阿比野建設株式会社を設立しました。以来、日本製鐵構内の土木建築工事を皮切りに、官公庁並びに民間の土木建築工事、不動産開発など、総合建設業として業容を拡げて参りました。一昨年2023年に、創立65周年を迎えたのを機に、“2030年に向けて”と題して「ABINOVISION」を策定しています。その中に、“業務の標準化、デジタル化による体系的で新たな仕組みを構築し、効率化を図ろう”それから、“社会の要請である省エネルギー化に貢献するオンリーワン技術のトップランナーを目指そう”というビジョンがあります。

本誌では、当社のオンリーワン建築工法である「NSスーパーフレーム工法」（以下NSSF工法）を紹介させていただきます。NSSF工法は、1995年の阪神淡路大震災を契機に、日本製鐵が開発した工法で、建築基準法上では、鉄骨造の一種である薄板軽量形鋼造に分類されます。これまで技術開発が進み、現在では、4階建までの集合住宅や高齢者施設、3階建までの事務所や研修所、構造区画面積1,000㎡までの平屋店舗や学校、保育園など様々な用途の建築物でご活用頂いています。



【大手製造業 100室（4階建）の社員寮】

NSSF工法には耐震性、耐久性、耐火性、遮音性など様々な優位性がありますが、中でも、効率性と省エネ性能について、他の工法と比較しても優れた性能を発揮しています。先ず、効率性においては、工場で生産された屋根パネル、床パネル、壁パネルを現地で箱のように組み立てる乾式工法により短工期を実現しています。加えて、施工管理者による施工図作成などの手間が省けるなど、建設業労働者減少の課題に対しても貢献できる工法です。当社では、このNSSF工法のパネルを製作する工場を姫路では2007年より、大分においては2015年より認定を受け稼働しています。当工法が西日本で採用された際には、姫路又は大分で製作した構造断熱パネルを運搬し、現地で元請のゼネコン様より建方工事をお請けしています。



【床パネルを組立中】

なお、躯体を構成する鉄は、高性能メッキ（日本製鐵製スーパーダイマ）を施した厚さ2.3mm未満の薄板形鋼を使用しており、躯体が軽量となることも大きなメリットです。建物自体が軽量となる事で、軟弱地盤の土地においても、杭工事が不要となったり、基礎自体のサイズダウンなどの構造設計が可能で、短工期、コストダウンを実現できています。次に、省エネ性能についてご説明致します。NSSF工法は鉄の躯体を断熱材です

ぼりと覆う外張り断熱通気工法を標準採用しており、少ないエアコン稼働量でも、冬暖かく夏は涼しい快適な住空間を実現できます。この画期的な省エネルギー性能により、カーボンニュートラルに向けて、建築物にも“改正建築物省エネ法”が施行されていますが、改正省エネ法に適合した、ZEH-M（ゼッチ・マンション）適合集合住宅やZEB（ゼブ）適合事務所などを低コストで実現しています。更に、NSSF工法は、鉄筋コンクリート造や鉄骨造と比較して、固定資産税評価額が低く設定され、減価償却年数も短く設定されているのも、建築主に喜ばれている優位性です。これは、“鉄の厚み”によって定められており、結果的に固定資産税や法人税が他工法と比較して、圧倒的に節税となり、イニシャルコストのみならず、高气密高断熱による光熱費などを含めたライフサイクルコストにも優位性があります。

当社は、このパネル製作建方請負業務を通して、様々な施工技術開発にも取り組んでいます。屋根を構成するユニットトラス（大スパン時に採用するトラス屋根パネルを、現地組立レスとするために工場で先組みするユニット）をNSハイパーツ社（日本製鉄が当工法の技術開発、事業開発を行うために設立した連結子会社）と共同開発し、採用が進んでいます。また、基礎と建物躯体を緊結させるホールダウン金物の精度を保つための“アンカーセット工法”を独自で開発し、実用新案登録を受けています。

NSSF工法の最近の実績は、大手生命保険会社が全国で進めている拠点事務所の建替えを、設計業務を含めて請けさせて頂いたり、200室の社員寮、大手製造業の社宅、社員寮などの案件が増加しています。



【大手生命保険会社事務所】

また、ある県の公共工事では、看護学校の学生寮が、当初計画では鉄筋コンクリート造で約50mもの杭を打設する必要があり、コストが合わず計画が遅れていましたが、NSSF工法が採用され、杭に代わる地盤改良工法が可能となり、まもなく着工する運びです。また、関西万博においては、コロンビアパビリオンで当工法が採用され、当社の姫路工場で作成した構造断熱パネルを現地で建てさせて頂いております。



【コロンビアパビリオン 開幕前夜】

当社では、これからも「誠実を第一義とし、技術の研鑽に努力する」の経営理念の元に、総合建設業として、刻々と変化する外部環境に対応すべく、建築主はもちろん、設計事務所様やゼネコン様に喜ばれ、ご活用頂けるよう取り組んで参ります。



IV 第167回研修交流会の開催

第167回研修交流会が15名の方々の参加により開催されました。

と き： 令和7年6月26日（木）

場 所： 城山カントリークラブ

優 勝 杉田 健一 氏（株）森長組

準優勝 原 広行 氏（株）森長組

3 位 山本 康一郎氏（株）山本設計

城山賞（当月賞）

松本 章 氏（株）明和工務店

B・B賞 原田 敏之 氏 兵庫県建築士事務所協会 会長

ドラコン賞 原 広行 氏（株）森長組、合田 和弘 氏 東洋電気工事（株）

ニアピン賞 原 広行 氏（株）森長組、佐伯 康彦 氏 久保田メント工業（株）



V お知らせ

◎行事予定

1 月例会

日時：令和7年7月10日（木）

12:00～14:00

場所：神戸市立博物館（移動例会）

内容：「神戸市立博物館と国宝銅鐸」

神戸市立博物館

学芸員 萱原 朋奈 氏

2 事業推進委員会

日時：令和7年7月28日（月）

講演：17:15～17:45

会食：17:45～19:15

場所：神戸 老房

講演：「神戸市における木材利用」

神戸市住宅建築局 副局長

光平 正弘 氏

3 月例会

日時：令和7年9月4日（木）

12:00～14:00

場所：神戸三宮東急REIホテル

内容：「音楽の海外修行」

バイオリニスト 土井 美佳 氏

4 理事会

日時：令和7年9月4日（木）

14:00～15:00

場所：神戸三宮東急REIホテル

内容：・令和7年度事業執行状況について

・令和7年度予算執行状況について

・その他

5 月例会（予定）

日時：令和7年10月9日（木）

12:00～14:00

場所：原田の森美術館

内容：「横尾忠則の世界」

原田の森美術館 学芸員

山本 敦夫 氏

事務局：吉本義幸、石井滝実子
電話：078-996-2851
FAX：078-996-2852
Email：archit-k@axel.ocn.ne.jp

安心をカタチに

兵庫県住宅再建 共済制度 フェニックス共済



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」

今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大80%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら
豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した
住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ!**

県内に住宅(戸建て・マンションなど)をお持ちの方に		県内の住宅(借家含む)にお住まいの方に
住宅再建共済	一部損壊特約	家財再建共済
年額 5,000円 で 再建、補修時等に 最大 600万円 給付!	プラス 年額 500円 で 補修時等に 25万円 給付!	単独加入 年額 1,500円 で 住宅とセット加入の場合 年額 1,000円 で 購入・修復時に 最大 50万円 給付!
※半壊(損害割合 20%)以上	※損害割合10%以上20%未満	※床上浸水・半壊以上

※住宅の被害認定(損害割合)は、住宅の所在する市町が発行する「り災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)
FAX: 078-362-4082

E-mail jutakukyosaiikikin@pref.hyogo.lg.jp

フェニックス共済 検索 **★加入申込書はダウンロードできます★**



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局(簡易郵便局除く)にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です!